

- 今年度から「日本伝統芸能史」の授業を担当 -

笑福亭仁智さんが学生に落語を披露

日 時：7月4日(金)午前10時40分から 場 所：第1学舎1号館 千里ホールA

関西大学では、今年度から文学部「日本伝統芸能史」を担当する非常勤講師として、笑福亭仁智さんをお迎えしています。このたび、7月4日(金)の授業において、仁智さん自ら落語を披露し、学生に対して日本の伝統芸能についての講義を行います。

「日本伝統芸能史」は文学部の選択科目で、春学期および秋学期に開講します。講義では、芸能のはじまり、能・狂言、歌舞伎・文楽、話芸、芸事など、日本の伝統芸能の歴史について、映像や実演を交えてその魅力を体験します。

春学期の講義風景(2008年5月)

これまでも仁智さんは、能や狂言の実演を行うなど、学生が実際に伝統芸能に触れることを意識した授業を行ってきました。当日は、落語のほか、山鹿市常法寺住職の佐々木高彰氏をお招きし、仏教から生まれた芸能の源流「節談説教」も披露していただく予定です。



仁智さんはこれまでの授業を「4月から始まった講義ですが、受講生のまじめな姿勢に触発され、自分自身の勉強にもなっています」と振り返るとともに、「秋学期は、色々な角度から笑いにスポットを当て、体感してもらい、感性豊かな人間として日本人の価値観を認識するきっかけになればよいと思います」と今後の授業への抱負を語っています。

記

- 1 日 時 7月4日(金)10時40分~12時10分
- 2 場 所 千里山キャンパス 第1学舎1号館 千里ホールA
吹田市山手町3-3-35(阪急電鉄「関大前駅」下車、徒歩約15分)
- 3 科目名 文学部「日本伝統芸能史」

以上

笑福亭仁智氏 プロフィール

吉本興業所属。上方の古典落語と創作落語に取り組むかたわら数々のテレビ・ラジオ番組で活躍。2カ月に1度開催の「笑いのタニマチ」で、毎回新作のネタをおろし現代落語を追求。

作品数は100本以上。『上方落語喜講』を主宰し、平成4年より「伊勢参り落語会」「お寺数珠つなぎ落語会」など毎年チャリティー寄席を開催し収益金を寄付。

受賞歴 平成10年度 大阪文化祭賞 奨励賞、平成15年度 文化庁芸術祭 優秀賞

文学部「日本伝統芸能史」について

文学部選択科目

春学期履修者数：105人

【講義概要】

芸能とは、浮世離れの疑似体験。その芸能が繁栄するためには、人々から支持されねばならず、古典芸能として生き残ってきた背景・過程を知り、日本人の価値観・美意識を確認する。また、映像・実演を交えて、その魅力を体感する。

【春学期・講義計画】

芸能のはじまり
能・狂言
歌舞伎・文楽
話芸
芸事
その他

【秋学期・講義計画】

笑いの歴史
日本人の遊び心
語り芸 講談の演出(ウソ)
世界の笑い
落語の世界
寄席芸
生活の中の笑い

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 広報室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>